

事業方針の振り返り（報告）

【重点取組項目】

1 第4期都筑区地域福祉保健計画の推進および第5期計画の策定

計画の最終年となる都筑区福祉保健計画ならびに地区別計画の取組が推進されるよう本会の取組を進め、各地区の推進を支援しました。

また、第5期地域福祉保健計画の区計画・地区別計画の策定については、区役所、地域ケアプラザや地域の皆さまとともに着実に進め、計画を策定しました。

2 身近な地域における支援活動の強化

(1) 地区社協等の活動支援

安定した運営を継続できるよう、活動費の助成をはじめ、寄付物品の提供や研修会の開催、情報交換の機会をつくりました。

(2) 個々の困りごとに対する支援

様々な困りごとを抱える方々に対して、課題解決に向けた丁寧な対応を基本に他機関・団体との調整を含めた生活支援を継続してきました。

3 大規模災害への備え

発災時を想定したシミュレーション訓練を区役所関係部署・区災害ボランティアネットワークとともに実施しました。また、必要な資機材の整備を進めつつ、企業等との駐車場の提供やエネルギー機器提供の協定の締結に向けての準備を進めました。

4 社会福祉協議会の周知

社会福祉協議会の理念や役割・事業について周知するため、ホームページやX(エックス)に加え、公式LINEを開設しました。

また、区社協パンフレットの英語版を作成し、ホームページに掲載しました。

5 安定した組織運営

限られた予算・時間を有効に活用し、法人運営と財務・各事業について、適切な業務執行を継続させ、また、小さな異変に気付くよう、日常的なコミュニケーションを重視しました。結果、大きな事故なく組織運営を行うことができました。

<各事業>

I 地域福祉推進のための取組

1 都筑区地域福祉保健計画の推進（重点1）

市社協補助金、共同募金 1,010千円 [0]

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができることをめざして、基本理念である『人と人との「であい ささえあい わかちあい」』の実現に向けた取組を進め、第5期計画を策定しました。

(1) 第4期計画の推進・第5期計画の策定

① 区計画推進委員会の実施

開催日時	内 容
7月3日（木） 10：00～12：00	・第5期都筑区地域福祉保健計画策定進捗状況および区民意見募集について ・「つづき あい基金」助成金助成報告について ・第5期地域福祉保健計画素案（案）について
7月 ※書面開催	・第5期地域福祉保健計画素案（案）について
11月28日（金） 10：00～12：00	・「つづき あい基金」助成金審査会結果報告について ・第5期地域福祉保健計画 地区別計画進捗について ・第5期地域福祉保健計画 区計画策定に向けて

② 地区別計画の推進および策定に向けた支援

地域の実状に応じた福祉保健の課題を共有するとともに、その解決に向けて話し合うために、地域住民や地域活動団体、施設など誰でも参加可能な地域懇談会を各地区で開催し、区・地域ケアプラザ・区社協で構成される支援チームで連携し、計画の推進および第5期地区別計画策定の支援を行いました。また、社会福祉大会と同日開催で、第5期計画の発表会を実施しました。

③ パネル展の開催（再掲）（令和8年2月18日（水）～2月27日（金））

第5期都筑区地域福祉保健計画地区別計画を広く区民に周知すること目的に、都筑区役所で各地区の取り組みおよび福祉施設紹介のパネル展を開催しました

○パネル展示

日 時	2月18日（水）～27日（金）
場 所	都筑区民ホール（都筑区総合庁舎1階）
内 容	・地区別計画の紹介 ・地域における子育てや高齢者支援、健康づくりに関する活動の紹介 ・ボランティアグループの取組や活動紹介 ・区、区社会福祉協議会、地域ケアプラザにおける福祉保健事業の紹介など

④ 研修会の開催

地域福祉保健計画の推進のために職員向けに研修を行いました。

開催日時	テーマ	講師	参加者数
5月22日(木) 13:15～14:45	都筑区地域福祉保健計画 及び地区別支援チーム 新任者・転入者説明会	都筑区役所職員 地域ケアプラザ他	41名 ※動画配信含む

開催日時	テーマ	講師	参加者数
9月5日(金) 9:00～11:30	地区別支援チーム研修～ 地域の活動者を増やすに は～	神奈川大学人間科学部 教授 齊藤 ゆか 氏	23名

(2) 「つづき あい基金」の運営および活動助成

区補助金、善意銀行 156 千円 [151 千円]

善意銀行寄付金等を原資とし第4期地域福祉保健計画の推進のため助成を行いました。

助成決定団体(件数)	助成額
4団体(4件)	141,846 円

※詳細は資料5 (45 ページ) 参照



2 「身近な地域のつながり・支えあい活動」の推進(重点2)

(1) 住民活動による課題解決のための取り組み

地域活動が安定的・継続的に活動ができるように検討の場をもちました。

① 地区社協合同情報交換会の開催

情報交換を希望するテーマを募り、意見交換や情報交換を行いました。

開催日時	テーマ	参加者数
6月30日(月) 15:15～17:00	「見守り・生活支援ボランティア」	8名
	「地域活動者・ボランティアの活性化」	6名
	「地区社協のPR」	10名

② 地区支援会議の開催

地区支援を行う職員のスキルアップを目指し、地区支援を行う中で、課題と感じていることを職員間で共有、検討する会議を年間8回実施しました。

また、所内では本会における事業の振り返りと在り方検討を行いました。

(2) 生活困窮者支援

制度の狭間である生活困窮者のために食支援を行いました。

① 食のお渡し会の実施とフードドライブ

○食のお渡し会

子育て世帯で食にお困りの世帯への関係団体の協力を得て「食のお渡し会」を実施。

開催日時	世帯数	当日協力団体
11月28日(金) 29日(土) 10:00～17:00	53世帯 186名	民生委員・児童委員、都筑区子育て支援センターPopo1a、キッズフォレ、アーモンドコミュニティネットワーク、児童家庭支援センターかわわ他 21名

○フードドライブ

都筑区民、イケアジャパン株式会社等区内の企業・近隣区の企業、横浜市資源循環局等から食品をお預かりしました。また、食のお渡し会の開催時期に合わせて、食料品の寄付を募りました。

実施期間	寄付件数	寄付者(順不同・敬称略)
10月14日(火) ～11月14日(金)	59件	都筑区仏教会、新栄早渕地区社会福祉協議会、勝田茅ヶ崎地区社会福祉協議会、活いきファーム、小川 邦夫、ウェンガー ゲオルグ、上中 こまき、唐戸 洋子、木村 博子、齋藤 美津子、根本 利香、古田 明子、松田 奈々、村田 輝雄、村田 幸夫、横手 美枝子、匿名 37名の住民のみなさま

・資源循環局 計 991 個 合計 263.77 kg



フードドライブとお渡し会のチラシ

② 個別への食糧支援

○食糧支援対応数

	令和7年度	令和6年度
相談数	53件	30件
食品提供数	53件	30件

③ 地域活動団体への食支援の提供

各地区で活動している団体に対し、寄付物品を配付しました。

団体数 合計 28 団体 合計数 93 回

3 地区社会福祉協議会の支援（重点２）

地区社会福祉協議会活動が円滑に進むよう、地区社協活動の支援、課題検討、活動費助成を行いました。

（１）地区社協分科会・事務局長会議の開催

地区社協分科会および地区社協事務局長会議を開催しました。

① 地区社協分科会（合同会議）

V-2-(1)-②（25 ページ）参照

② 事務局長会議

日 時	参加人数	主な内容
4月8日(火) 10:00～12:00	13名	・令和7年度賛助会員の募集について ・地区社協研修（基礎編）について ・地区社協合同情報交換会について ・地区社協研修検討委員の選出について ・区社協事業計画・収支予算について ・【意見交換】各地区社協今年度の活動について
9月9日(火) 10:00～12:00	14名	・第30回都筑区社会福祉大会の開催 ・善意銀行配分希望の登録について ・令和8年度地区社協分科会開催日程について ・食のお渡し会について ・赤い羽根協共同募金について ・神奈川県および横浜市社会福祉大会地区社協表彰について ・【意見交換】賛助会費について
2月10日(火) 10:00～12:00	14名	・令和7年度賛助会員報告と令和8年度募集について ・令和8年度地区社協活動費について（精算依頼） ・令和7年度食のお渡し会報告 ・地区社協研修広報編報告 ・【動画視聴と意見交換】人材確保で工夫していること

（２）地区社協研修会の開催

地区社協役員・活動者を対象とした地区社協関係者研修を開催しました。

① 区社協主催研修（基礎編）

日 時	6月30日(月) 13:00～15:00
場 所	かけはし都筑 多目的研修室
内 容	テーマ 「地区社協の活動について」 講 師 区社協事務局長
参加人数	地区社協役員等 16名



▲グループディスカッションの様子

② 区社協主催研修（広報編）

日 時	2月26日(木) 13:30～16:30
場 所	かけはし都筑 多目的研修室
内 容	「見やすいチラシ・伝わる広報紙作ってみませんか？」 講師 高橋 誠一氏 (株)オープン
参加人数	地区社協関係者 17名 地域ケアプラザ等 4名



▲グループディスカッションの様子

（３）地区社協ヒアリングの実施

各地区社協活動の状況確認や課題の共有・事業方針の検討等を行うとともに、区社協が進める地域支援のための基本方針の一助としました。

- ・実施状況：14 地区にて実施

（４）地区社協活動の広報・PR

地区社協の活動を広く周知するため、広報紙などを活用して情報提供を行いました。

- ① ホームページやXを使い地区社協情報の提供
- ② 区社協広報紙での活動紹介

（５）地区社協活動の支援

市社協補助金 共同募金配分金、賛助会費 7,859 千円 [8,077 千円]

地区社会福祉協議会の活動が円滑に進むよう各種支援を行いました。

① 地区担当職員制による支援

地区担当職員を置き、担当職員が各地区の課題解決に向けて、各種会議やイベント等への参加などを通じて地域の活動やニーズを把握し、支援を進めました。

② 地区社協活動運営費の交付

活動費（世帯割・事業割）を交付し、地区社協活動を支援しました。

（ア）地区社協活動費（横浜市社協補助金）

指定事業の実施により、50,000 円を交付。総額 700,000 円

（イ）地区社協活動費（世帯割）（都筑区社協補助金）

40,000 円を基礎交付額とし、これに世帯数等を加味して活動費を助成

・14 地区社協へ助成 総額 1,760,000 円

（ウ）地区社協活動費（事業割）（都筑区社協補助金）

実施予定の事業に応じて助成

・14 地区社協へ助成 総額 1,065,000 円

※（ア）（イ）（ウ）の助成については資料 4（44 ページ）参照

（エ）見守り活動助成

実施予定の事業に応じて助成

・14 地区社協へ助成 総額 1,625,000 円

※（エ）の助成については資料 3（42 ページ）参照

③ 賛助会費還元金の助成

集められた区社協賛助会費の 51%を地区社協へ助成し活動を支援しました。

- ・ 14 地区社協へ交付 総額 2,709,455 円
- ※③の総額についてはV 4 (29 ページ) 参照

4 生活支援体制整備事業の推進

市社協委託費 200 千円 [200 千円]

高齢者一人ひとりができることを大切にしながら暮らし続けるために多様な主体が連携・協力する地域づくり(地域包括ケアシステム)の構築を目指し取組を進めました。

特に地域ケアプラザとの一体的な連携体制で、これまでの地域福祉推進の実践を活かし、地域状況の把握や社会資源の開発を始めとした生活支援・介護予防の充実した地域づくりの取組を進めました。

(1) 第1層(区域)の取組

- ①区役所・地域ケアプラザと事業推進のための区推進会議を5回開催
- ②介護予防・生活支援サービス補助事業(サービス・活動B)の団体支援および情報共有
 - ・ 年2回、団体と担当ケアプラザ、区、区社協の4者での情報共有を行い、要支援者の確保等の課題を把握しました。
 - ・ 区内で活動する4か所の活動団体の情報交換会を実施しました。
 - ・ 横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業(サービス・活動B)の区域チラシを団体のみなさんと一緒に内容を検討しながらリニューアルしました。
- ③生活支援ボランティアグループ交流会(11月)の開催
 - ・ 生活支援コーディネーター連絡会で第2層生活支援コーディネーターとともに検討を重ね、役割分担のもと、区内で活動する7団体の生活支援ボランティアグループのメンバーが参加し、情報交換を行いました。

(2) 第2層生活支援コーディネーター(ケアプラザ圏域)の支援

- ①コーディネーター連絡会の開催(毎月開催/全12回)
 - ・ 市域の動きを報告・共有するとともに、コーディネーター同士の情報交換や学びの場として、開催しました。また地域活動・交流コーディネーターとの合同会議も隔月ごとに実施しました。
- ②コーディネーターに向けた活動ヒアリング
- ③地域とケアプラザ、企業と共に移動販売の導入支援を行いました。
6地区13拠点にて、本格稼働中(R8.3.31現在)

(3) Webでの情報発信(情報公開)

“ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ”の情報更新

5 地域ケアプラザとの連携強化

本会と各地域ケアプラザが、個別の課題を抱えた要援護者等への支援や地域づくりに一体的に取り組むため、各種連絡会、会議等への参加などを通じて、相互の連携強化を図りました。

- (1) コーディネーター連絡会の開催(毎月開催)
- (2) 所長会議への参加(毎月)
- (3) 運営協議会や地域支え合い連絡会に参加(随時)
- (4) 地域包括支援センター・区社協・区連絡会に参加(随時)

- (5) 地域包括支援センター職種別分科会に参加（毎月開催）
- (6) 各地域ケアプラザの圏域カンファレンスに参加（毎月開催）
- (7) 各地域ケアプラザおよび区が主催する地域ケア会議に参加（随時）
- (8) 地域ケアプラザなどのイベント・研修会に参加協力（随時）

6 福祉教育・福祉啓発、企業の地域貢献の推進

市社協補助金 36 千円 [32 千円]

(1) 福祉教育・福祉啓発のための相談機能や PR 活動の充実

昨年度福祉教育一覧表を作成し、周知を行ったことで、相談件数が増加しました。障害当事者や地域の方、福祉関係施設職員の講話をはじめ、一緒にゆるスポーツ（ボッチャ・モルック等）を体験する等、講義も取り入れた体験型の福祉教育を実施することができました。

	令和 7 年度	令和 6 年度
対応件数	20 件	15 件
内 訳	小学校 7 校、中学校 1 校 高等学校 1 校	小学校 14 校、中学校 1 校



▲車椅子体験



▲ユニバーサルデザイン講座

7 都筑区ふれあい助成金などを通じた福祉保健活動への支援

共同募金配分金、市社協補助金 7,188 千円 [7,150 千円]

ボランティア活動団体、市民活動団体、障害者団体が継続的な活動が行えるよう、団体が行う事業に対して助成を行うとともに、各団体の活動状況を把握し継続的に支援しました。

(1) 都筑区ふれあい助成金の実施

	令和 7 年度	令和 6 年度
申請団体	96 団体	96 団体
配分団体	96 団体	96 団体
辞退・返還	0 団体	0 団体
配分総額	7,188,000 円 財源内訳：市社協補助金 4,294,800 円 共同募金 2,893,200 円	7,150,000 円 財源内訳：市社協補助金 4,290,000 円 共同募金 2,860,000 円

※配分委員会の開催については 28 ページ、配分団体および配分金額については資料 2 (39 ページ) 参照

8 年末たすけあい配分金事業

年末たすけあい配分金 2,337 千円 [2,517 千円]

地域福祉の推進のため、年末たすけあい募金を財源として、地区社会福祉協議会が実施する地域の要援護者等の地域見守り活動および地域の福祉団体が年末に行う活動に助成しました。

(1) 地区社協助成（見守り訪問助成）

地区社会福祉協議会が年間を通じて実施する、要援護者等の見守り活動について、活動費の助成による支援を行いました。

	助成区分	令和7年度	令和6年度
助成金額	総 額	1,625,000 円	1,785,000 円
内訳等	①見守り訪問活動 ②見守り連絡会 ③見守り物品購入	14 地区 1,555,000 円 7 地区 70,000 円 0 地区 0 円	14 地区 1,665,000 円 7 地区 70,000 円 1 地区 50,000 円

地区社協で①～③のうち複数の区分への助成申請が可能

(2) 団体助成

区内のボランティア団体や障害者団体、地域福祉保健団体が年末年始に実施する活動を支援しました。

	令和7年度	令和6年度
助成金額	711,840 円	732,000 円
助成団体数	17 団体	18 団体

※地区社協助成および団体助成の詳細は資料3 (42・43 ページ) 参照

II 地域福祉推進の基盤づくり

1 ボランティア活動の推進

区委託費・市社協補助金・賛助会費 3,656 千円 [3,408 千円]

(1) ボランティアセンターの運営

① ボランティアセンター運営委員会

ボランティアや地域の方々の意見を反映したボランティアセンターの運営を行うため、運営委員会を開催し、センターの運営方法や事業の方向性等を協議しました。

日 時	参加者数	主 な 議 題	結果
7 月 18 日 (金) 10:00～11:30	9 名	・ 令和6年度 都筑区ボランティアセンター関連事業報告について ・ 令和7年度 都筑区ボランティアセンター事業計画および進捗状況について ・ 令和6年度 都筑区善意銀行寄託金品 受配結果について (報告) ・ 令和7年度 都筑区善意銀行 寄託金品受託状況について ・ 令和7年度 善意銀行配分金について	承認
10 月 27 日 (月) 10:00～11:30	7 名	・ 善意銀行配分事業の一部改正について ・ 令和7年度 善意銀行配分金について	承認

2月5日(木) 10:00～12:00	9名	・令和7年度 都筑区社協ボランティア関連事業 進捗状況について ・令和8年度ボランティア関連事業実施スケジュール(案)について ・令和7年度 都筑区善意銀行寄託金品受託状況について ・令和7年度 第2回善意銀行配分(案)について	承認
------------------------	----	---	----

② ボランティア相談および調整事業

ボランティアに関する様々な相談を受け、調整を行いました。また、区社協内他事業との連携を意識したコーディネートを行い、ニーズに即した対応に努めるとともに、地域ケアプラザ等の関係機関とも調整し進めてきました。

○ボランティア相談

		令和7年度	令和6年度
ボランティア関係相談		2,565件	2,384件
ボランティア 新規登録数	個人登録	95名 (総計422名)	115名 (総計408名)
	団体登録	17団体 (総計156団体)	43団体 (総計163団体)
ボランティア依頼 ボランティア活動希望 調整数	依頼件数	57件	37件
	調整数	1,499回	1,306回
	ボランティア派遣人数	250名	87名

*システム導入により、令和6年度より集計方法が変更されました。

○その他相談

		令和7年度	令和6年度
福祉教育機材貸出	高齢者疑似体験セット	8件	6件
	白杖	1件	2件
	点字器	4件	3件
各種ボランティア 保険の加入受付	ボランティア活動保険	187件	196件
	ボランティア行事用保険	522件	422件
	福祉サービス総合補償	13件	11件
	送迎サービス補償制度	1件	1件

③ 登録ボランティアの活動支援および状況把握

単発の活動に関しては活動終了後速やかに、継続の活動については活動開始後3カ月をめぐりにフォローアップの連絡を入れ、活動状況や課題の把握に努めました。また、登録または更新後3年を経過した個人登録ボランティアについては登録更新および活動現況やボランティアセンターへの要望などのアンケートを実施しました。

(対象：111名/422名 回答：79名(うち更新有：16))

④ 各種ボランティア講座の開催・協力等

ボランティア活動に参加するきっかけづくりのため、また既に活動している方のフォローアップおよび必要な知識・スキルを得ることを目的に、関係機関と連携してボランティア講座を行いました。

日 時	参加者数	講座名 / 内容	共催等
11月13日(木) 10:00~12:00	20名	傾聴講座 傾聴を取り入れたコミュニケーションについて 講師：傾聴ボランティア・モモ 3名 内容：傾聴の技法、ペアワーク、講師の体験談について	ボランティア・市民活動団体等分科会

⑤ ボランティア交流事業

ボランティアの個人登録者や団体同士が横のつながりを持つことで悩みや課題・その解決策を共有し、より円滑な活動につなげるとともに、活動に必要なスキルを習得することを目的として、ボランティア・市民活動等分科会にて方向性を検討の上、団体交流会を開催しました。

日 時	参加者数	内容
9月17日(水) 13:30~15:50	41名	対 象：ボランティア・市民活動等分科会会員 ボランティアセンター登録団体・個人 内 容：講座「ボランティアを増やすためには」/参加者交流 講師：神奈川大学人間学部 教授 齋藤 ゆか氏
1月21日(水) 13:30~15:00	33名	対 象：ボランティア・市民活動等分科会会員 ボランティアセンター登録団体・個人 内 容：グループワーク「ボランティア活動を継続していく秘訣」「ボランティア活動やボランティアグループを運営していくなかで大変だったこと」「ボランティアの仲間を増やすためには」/参加者交流



▲講義「ボランティアを増やすためには」



▲グループワークの様子

⑥ ボランティア広報啓発事業

多くの方にボランティア情報を届け活動に繋げることを目的に、広報の発行やホームページの運営等を行いました。

実施方法	発行頻度	内 容	発行部数等
ボランティア情報 「ボランティアどっとこい！都筑」の発行	2回 /年	ボランティア募集情報、講座情報、 助成金情報、ボランティア保険情報など	延べ 2,334部

メールマガジンの発行	12 回 ／年	ボランティア募集情報、講座情報、 助成金情報、ボランティア保険情報など	延べ 7,147 通
ホームページによるボ ランティア情報の提供	随時	ボランティア募集情報、講座情報、 助成金情報、ボランティア保険情報など	アクセス数 40,476 件
福祉保健活動拠点内ボ ランティア情報コーナ ーの設置・運営	随時	ボランティア募集情報、講座情報、 助成金情報、ボランティア保険情報など	
パネル展示	1 回	ボランティアセンター案内およびボラン ティア・市民活動等分科会参加グループ の活動紹介パネルを、都筑区民ホールパ ネル展にて展示 2月18日（水）～2月27日（金）	-

2 災害ボランティアセンター設置体制の整備（重点3）

市社協補助金 賛助会費 61 千円

[31 千円]

（1）災害ボランティアセンターの体制整備

発災時に迅速に都筑区災害ボランティアセンターの開設を行えるよう、平常時から都筑区と連携しながら設置運営について検討協議を行っています。また、災害ボランティアセンターで必要な資機材の購入や運営マニュアルの整備を行いました。

○都筑区災害ボランティアセンター設置・運営シミュレーション訓練

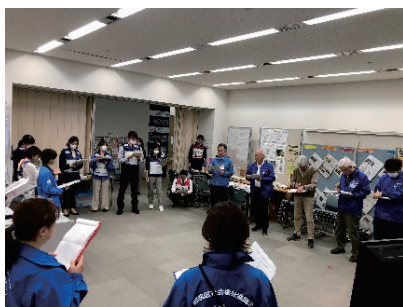
日時：11月17日（月）15：00～17：00

場所：都筑区民活動センター（都筑区災害ボランティアセンター設置場所）

参加者：26 名（都筑区総務課、こども家庭支援課、都筑区災害ボランティアネットワーク、都筑区社協 ほかに 1 区社協が視察）

内容：災害ボランティアセンター設置・運営について

- ・区災害対策本部設置時の体制について
- ・災害ボランティアセンター設置・運営について、各機関の役割について
- ・発災時を想定したシミュレーション訓練の実施



▲全体で流れの確認



▲ボランティアの受付

① 都筑区災害ボランティアネットワーク総会、定例会

（ア）総会：1 回／年 （イ）定例会議：7 回／年

② その他の活動

（ア）つづきマンション防災セミナー（都筑区災害ボランティアネットワーク共催）

日時：10月13日（月・祝）13：00～16：30

場所：かけはし都筑 1 階 多目的研修室

- 参加者：42 名
 内容：情報提供 マンションの防災対策について
 特別講演 熊本地震の経験からマンションの防災について考える
 ～2016 年に発災した熊本地震の被災経験を学び、首都直下地震に備える～
 ワークショップ グループディスカッション
 (イ) つづき防災セミナー（都筑区災害ボランティアネットワーク共催）
 日時：2 月 11 日（水・祝）13：30～16：00
 場所：かけはし都筑 1 階 多目的研修室
 参加者：54 名
 内容：講演 1 横浜市の防災対策について
 講演 2 災害時における医療供給体制について
 講演 3 民生委員・児童委員制度の概要について
 活動報告 生活支援コーディネーターの活動の実際
 (ウ) 都筑区民まつりへの出店
 日時：11 月 3 日（月・祝）
 場所：センター南駅前
 内容：防災に関するアンケートの実施
 都筑区災害ボランティアネットワークの PR
 都筑区災害ボランティアセンターの PR
 防災に関するよろず相談

3 善意銀行の運営（重点 5）

区民の方々から寄せられた善意の寄付を、地域福祉の活性化のために福祉活動団体や障害者団体等に配分金として配分しました。物品寄付については、「食のお渡し会」（4 ページ参照）での活用その他、会員向けに配分案内をおこない、希望する団体に配分を実施しました。

【預託金】

収 入			支 出		
前年度繰越金	4,571,812 円	23 件	善意銀行配分金	1,743,591 円	34 件
7 年度預託金	2,041,205 円		食支援事業	100,000 円	
利息・他	15,606 円		つづき あい基金事業	75,000 円	
			次年度繰越金	4,710,032 円	
合 計	6,628,623 円		合 計	6,628,623 円	

※内訳については資料 1（35 ページ）参照

【預託品】

物品預託	67 件	物品配分	105 団体
------	------	------	--------

4 都筑区福祉保健活動拠点「かけはし都筑」の運営

区委託金・市社協補助金・利用料

17,925 千円 [17,645 千円]

福祉保健活動拠点指定管理者として、ボランティアに関する相談および育成、個人・団体の地域福祉保健活動への参加および連携に関する支援、施設の利用調整および保守管理業務を行いました。また、拠点が地域住民の自主的な福祉活動・保健活動の中核となるよう利用を促進しました。なお、令和8年度から5年間、指定管理者として選定されました。

(1) 利用登録団体数

団体種別	令和7年度	令和6年度
ボランティアグループ	24 団体	23 団体
当事者団体グループ	26 団体	27 団体
福祉保健活動団体	41 団体	46 団体
その他市民活動団体	39 団体	48 団体
合 計	130 団体	144 団体

(2) 部屋別利用件数

部屋名	令和7年度	令和6年度
団体交流室	885 件	849 件
多目的研修室	571 件	504 件
点字製作室	80 件	85 件
録音室	26 件	32 件
対面朗読室・編集室	415 件	287 件
合 計	1,977 件	1,757 件

※福祉保健活動拠点の予約状況をホームページにて情報を公開しました。(原則毎日更新)

(3) 相談件数

相談内容	令和7年度	令和6年度
拠点の施設・設備利用関係	2,725 件	2,576 件
ボランティア関係	2,565 件	2,384 件
合 計	5,290 件	4,960 件

(4) 拠点利用団体説明会の開催

日 時	参加数	内 容
2月24日(火) 10:30~11:30	29 名 (26 団体)	- 令和8年度かけはし都筑平日夜間および日祝日時間帯の利用方法の変更について - かけはし都筑 利用上の注意点等について - ロッカー抽選について

5 地域への福祉啓発推進のための事業（重点4）

(1) 広報紙「しゅんらん」の発行

共同募金配分金・正会費 1,126 千円 [1,226 千円]

区民に向けた福祉啓発・理解を深めるため、広報紙「しゅんらん」を発行し、区社協活動や地区社協活動、共同募金など、都筑区内で行われている福祉活動の情報提供を行いました。

発行回数	年3回
発行部数	70号 1,000部（A4 両面2ページ、公共施設にて配架等） 71号 34,500部（1面全面、タウンニュースに掲載） 72号 6,000部（A4見開き4ページ、班回覧、公共施設にて配架等）
内 容	●70号（令和7年7月発行） ・賛助会員募集、令和6年度賛助会費にご協力いただいた企業・団体一覧 ・ガイドボランティアの紹介 ・地区社協の紹介（茅ヶ崎南 MGCRS 地区・ふれあいの丘地区社会福祉協議会） ・令和6年度収支決算報告および令和7年度事業計画 ●71号（令和7年9月25日発行号） ・共同募金ご協力のおかげ、共同募金に支えられている地域の福祉活動（佐江戸加賀原ちょこっとボランティア、山田地区Dフレンドリー委員会） ・区民まつり赤い羽根募金スペースのご案内 ・区社協からのお知らせ（フードドライブ、共生フェスタ、防災セミナーのご案内） ●72号（令和8年3月発行） ・第5期都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」完成報告 ・第30回都筑区社会福祉大会の報告 ・地区区社協の紹介（東山田地区・山田地区社会福祉協議会） ・共同募金運動のお礼、横浜ビー・コルセアーズ「区民応援 Day」実施報告 ・善意銀行寄付者、ご寄付のお礼、食のお渡し会報告他 ・障害者と地域の共生フェスタ実施報告

（2）区社協ホームページの運営

地域の活動など福祉に関する情報を地域ニュースに掲載しました。区社協事業の紹介ページをよりわかりやすく修正しました。また区社協パンフレットの英語版に掲載しました。

○ホームページアドレス https://www.tuzuki_shakyo.jp

更新回数	業者による定期更新4回 職員による更新 ①区社協ニュース 25回 ②地域ニュース 24回 ③ボランティア情報 68回 合計 117回
掲載内容	各種事業の紹介およびボランティア・地域活動の情報等
更新内容	ボランティア情報、助成金情報、地区社協活動、かけはし都筑について、広報紙・講座のお知らせ等
アクセス数	40,476件、平均110件／日（令和6年度：40,322件）

（3）SNSによる情報発信

X（エックス）による情報発信を行いました。

フォロワー数：74人 / 年間記事投稿数：14件
また、令和7年度末に公式LINEを開設しました。



(4) 第30回都筑区社会福祉大会の開催

日頃より、社会福祉活動やボランティア活動に取り組まれ、功労のあった皆様に感謝をお伝えする、社会福祉大会を開催しました。

日 程：令和8年2月19日(木)
場 所：都筑公会堂
内 容：式典(表彰式)
受賞者：42名/3団体
出席者：201名
その他：式典に先立ち茅ヶ崎小学校2年の皆さんがお祝いに駆けつけてくれました。



▲受賞式の様子

Ⅲ 子ども・青少年への支援

1 子ども・青少年分野の取組の推進

(1) 子育て支援機関・団体との連携

区、地区単位の子育てネットワーク会議、研修会に参加し、区役所、都筑区子育て支援センター「Popola(ポポラ)」や、区内の子育て支援団体等との連携を進めました。

(2) 子ども支援団体連絡会の開催

子ども支援に関わる関係機関、団体と情報交換を行いました。(年2回実施)

- ・子どものあんしん居場所マップ更新について
- ・食のお渡し会について
- ・支援窓口の共有について
- ・各団体の情報交換

《構成団体》

子ども食堂・地域食堂 6団体
学習支援／子どもの居場所団体 3団体
主任児童委員・関係機関等

2 子育て支援団体への支援(善意銀行および都筑区ふれあい助成金、年末たすけあい配分)

区や関係機関と連携し、子育て支援団体への活動を支援し、グループへ活動費の一部を助成しました。

子ども食堂立ち上げの相談が増加しており、子ども支援団体連絡会の中で参加団体へヒアリングを行い、活動立ち上げ時の実際の声をまとめた「活動はじめての一步」を作成しました。



IV 高齢者・障害児者の支援

1 あんしんセンター事業

市社協委託料・利用収入 452 千円 [355 千円]

自身で金銭や大切な書類を管理することに不安のある、高齢者や障害者が安心して日常生活を送ることができるよう、権利擁護や成年後見制度に関する相談を受けるとともに、契約に基づく福祉サービスの利用援助、定期訪問・金銭管理サービス、預金通帳など財産関係書類等預かりサービスを実施しました。また、成年後見制度や権利擁護事業の理解促進に努めました。

(1) 権利擁護に関する相談支援

生活や金銭管理、成年後見制度など幅広く権利擁護に関する相談を受け、高齢者や障害者の財産や権利を守り、安心して日常生活が送れるよう支援しました。

	令和7年度	令和6年度
初回相談	48 件	39 件
定期訪問・金銭管理サービスおよび対応回数	2,872 件	2,795 件

(2) 権利擁護事業の契約によるサービス提供

契約に基づき、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理などが困難な高齢者や障害者の生活を支援しました。

単位 (件)

サービスの種類	令和7年度				令和6年度末①
	新規②	取扱数③ =①+②	終了④	年度末数⑤ =③-④	
定期訪問・金銭管理サービス	10	54	10※	44	44
財産書類等預かりサービス	6	16	1	15	10

※終了理由：本人死亡3件、成年後見制度への移行3件、転居1件、入院・施設入所2件、本人希望1件

(3) 権利擁護事業や成年後見制度の理解促進

権利擁護事業や成年後見制度の理解促進のため、区役所・地域ケアプラザ等と連携し、事業の周知・啓発を進めました。

日 時	場 所	事 業 名	内 容
5月20日(火) 15:00~17:00	新栄地域 ケアプラザ	ケアマネジャー情報交換会	権利擁護事業(あんしんセンター)について説明
8月4日(月) 10:30~11:00	都筑センター 大広間	夏の大広間講座	権利擁護事業(あんしんセンター)について説明
8月22日(金) 16:10~16:35	都筑区役所	新任ケアマネジャー研修	都筑区社会福祉協議会と権利擁護事業(あんしんセンター)について
8月25日(月) 13:30~14:00	都筑区役所	生活支援課職員向け研修	権利擁護事業(あんしんセンター)について説明
12月22日(月) 10:30~11:00	葛が谷地域 ケアプラザ	もしもの不安に備える 悪質商法対策セミナー	権利擁護事業(あんしんセンター)について説明

(4) 成年後見サポートネットの実施

成年後見制度がより円滑に活用されるよう、区役所とともに協働で事務局を担い、地域包括支援センターとの連携により、専門職の後見人も参加した事例検討を実施し、成年後見制度の課題を共有しました（年4回）。

成年後見サポートネット

日 時	会議名	内 容
第1回 5月14日（水） 15：00～16：00	【第一部】 専門職会議	令和6年度対応状況一覧表、区域の課題共有 地域ケアプラザの事例検討
第2回 9月10日（水） 14：30～15：00 15：00～17：00	【第一部】 専門職会議	地域ケアプラザの事例検討
	【第二部】 全体会	成年後見制度を活用した支援検討 （ケアマネ部会（ケアネットつづき）と共催） 事例検討、グループワーク
第3回 12月10日（水） 14：30～15：00 15：00～17：00	【第一部】 専門職会議	地域ケアプラザの事例検討
	【第二部】 全体会	計画相談で関わっている事例について検討 （自立支援協議会：相談部会と共催） 事例検討、グループワーク
第4回 3月11日（水） 14：30～15：00 15：00～16：00	【第一部】 専門職会議	地域ケアプラザの事例検討 アセスメントシート及びエンディングノートの改定について
	【第二部】 全体会	各相談機関からの質問などを交え、士業の先生方と座談会

日 時	会議名	内 容
7月28日（月） 15:00～17:00	市民後見 サポートネット	「認知症ある方の支援について」 事例検討、グループワーク

※開催場所：かけはし都筑または都筑区役所

(5) 実施体制の強化

カンファレンスを月1回実施し、ケース検討やモニタリングを行うとともに、職員のスキルアップを図りました。検討に際しては、契約者への直接支援に加え、地域での支援や区役所、地域包括支援センター等との連携の視点を持って行いました。

他機関と連携し、横浜市社会福祉協議会で実施している市民後見人バンク登録者への継続的な支援に取り組みました。また、横浜生活あんしんセンターと協力し、市民後見バンク登録者2名について面談（年2回）を行い、それぞれの現状、要望の把握を行いました。

2 高齢者支援事業

第4期地域福祉保健計画の取組を推進するとともに、区や各地域ケアプラザとの連携により、次の活動を行いました。

(1) 地域ケア会議等への参加

各地域包括支援センターが開催する地域ケア会議への参加を通し、課題の共有を行うとともに、区社協、地区社協活動の連携により解決に向けた取組を進めました。

(2) 区役所、地域ケアプラザ、介護保険事業所等関係機関の連絡会への参加

区・各地域ケアプラザ、関係機関が開催する各種会議等への参加を通じて、課題の共有を図るとともに、解決に向けた取組を進めました。

(3) 認知症高齢者への支援

認知症サポート連絡会や認知症カフェ連絡会に対し協力することにより、認知症の方やその家族、地域住民等が、気軽に集える「サロン」や「カフェ」の活動を支援しました。

(4) 身寄りのない高齢者等支援事業（情報登録支援事業）

市社協委託料 1,362 千円 [0]

横浜生活あんしんセンターが実施する身寄りのない高齢者等支援事業の一部を受託し、「ヨコハマあんしん登録」における情報登録支援業務を実施しました。

令和8年1月～3月における対応件数：3件

3 障害児者支援事業

善意銀行・区補助金 378 千円[354 千円]

(1) ～福祉農園～障害者と地域の共生フェスタ（実行委員会形式）

障害者の社会参加・意識の向上を図るとともに、地域で暮らす人々が障害の有無に関わらず、ふれあうことを通じ、福祉のこころを育むことを目的に、各種団体と連携し様々な活動を行いました。



▲チラシ



▲当日の展示 メッセージツリーとフォトスポット



① いもほり

J A横浜東方支店およびJ A横浜青壮年部都田支部の協力により障害者を対象にいもほりを企画・実施しました。(参加者 194 名) また、収穫したサツマイモの一部は、障害者支援事業所が自主製品として加工し、共生フェスタで販売しました。

日にち	場 所	内 容
5 月 15 日 (木)	J A横浜	さつまいもの苗植え
10 月 19 日 (日)	きた総合センター農地	さつまいもの収穫

② 障害者と地域の共生フェスタ

「障害者週間」を中心に障害者の社会参加と障害福祉への理解向上を目的に各種団体と連携し啓発活動を行いました。

日程 会場	12 月 2 日 (火) ～12 月 6 日 (土) / 区役所区民ホール、ノースポートモール
内容	「障害者と地域の共生フェスタ」の内容 ・紙皿アート作品展「推しおしつづき」 ・障害福祉団体の活動を紹介する「障害者週間キャンペーン パネル展」 ・障害事業所連絡会「てつなぎつづき」の製品販売 ・競技用車いす体験コーナーの実施(12 月 6 日) ・農福連携による都筑野菜の販売を実施

(2) 各種連絡会への運営・参加協力

① 区域の連絡会に参加

都筑区自立支援協議会

都筑区障害児・者福祉団体連絡協議会

② 各種運営委員会への参加協力

地域活動ホーム、地域活動支援センター、障害者グループホームの運営委員として参加協力しました。

クラブハウスすてっぷなな／ごぼうハウス／つづき地域活動ホームくさぶえ／アスタ／都筑区生活支援センターころ野／ハイツ都筑

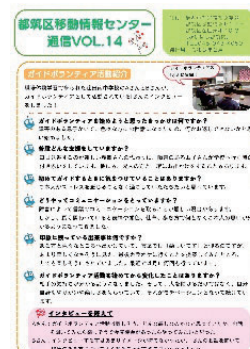
4 移動情報センター事業

市社協委託費・市補助金 10,820 千円[10,497 千円]

移動に困難を抱える障害者等からの相談に応じて、各サービス事業者等の情報提供や紹介を行いました。また、横浜市ガイドボランティア事務取扱団体として、ガイドボランティア、支援対象者の登録事務を行い、ガイドボランティアのコーディネートを行いました。

(1) 障害のある方の外出相談窓口（移動情報センター事業）

障害者等からの移動に関する相談に対して、支援制度の案内や福祉サービスなどの紹介等、コーディネートを行いました。



① 移動に関する情報のコーディネート件数

			令和 7 年度	令和 6 年度
連絡調整・相談件数			1,332 件	1,418 件
実相談数			57 件	58 件
障害 種別	身体障害	知的障害	8 件	8 件
		精神障害	35 件	30 件
		難病	4 件	7 件
		重複障害	1 件	2 件
		その他	3 件	3 件
			6 件	8 件

② 関係機関との連携（通年）

（ア）推進会議の開催

障害者の家族、つづき地域活動ホームくさぶえ等、障害者支援機関をメンバーとする移動推進会議を開催し、センターの運営状況について情報共有を行うとともに、推進方法等について検討しました。

日 時	参加者数	議 題
6 月 25 日（水） 10：00～12：00	19 名	・令和 6 年度事業報告・令和 7 年度事業計画について ・事例検討
3 月 5 日（木） 10：00～11：30	13 名	・令和 7 年度事業報告について ・周知活動について

（イ）障害福祉サービス事業所等との連携

相談に合わせて移動支援関連事業を行う事業所の状況を随時把握し、コーディネートに活かしました。

- 自立支援協議会居宅・移動部会および幹事会への参加
- 事業所情報の収集を、訪問・電話等により実施

③ 事業 PR 活動について

（ア）関係機関会議等への周知

ガイドボランティア募集チラシや移動情報センター通信を関係機関に配布しました。引き続き、郵便局や商業施設にもご協力をいただき、店内に配架しました。また、特別支援学校や特別支援教育コーディネーター連絡会、後見的支援室の事業等でも説明を行いました。

（イ）移動情報センター通信の発行

事業の周知を通してニーズの発掘や支援者の確保を行うことを目的に、以下の広報活動を実施しました。

	発行月	発行数	主な配布先
移動情報 センター通信 Vol. 13	7 月	1,000 部	ガイドボランティア・支援対象者、区内小中学校、近隣区の特別支援学校・福祉系の学校、地区センター、地域ケアプラザ等関係機関、ボランティアセンター登録者など
移動情報 センター通信 Vol. 14	2 月	1,000 部	

○都筑区社協広報「しゅんらん」70 号にガイドボランティア活動掲載（7 月 1,000 部発行）

(2) ガイドボランティア事業

① ガイドボランティア事業の推進

横浜市ガイドボランティア事務取扱団体として、ガイドボランティアおよび支援対象者の登録事務を行いました。

	令和7年度	令和6年度
ガイドボランティア登録人数	61名	44名
支援対象者登録人数	53名	39名
ガイドボランティア活動回数	1,410件	1,288件

② ガイドボランティアの育成・支援

(ア) 活動への参加呼びかけ

ボランティアセンター登録者へ移動情報センター通信を送付し、活動への参加を呼びかけました。また、ボランティアセンターと合同でメールマガジンを月1回配信し、活動への参加を募りました。(延べ7,147通配信)

(イ) ガイドボランティア養成講座の開催

障害への理解を深め、ガイドボランティア活動への参加者を育成・支援することを目的に、ボランティアセンターと養成講座を開催しました。

日 時	参加者数	講座名 / 内容
12月17日(水) 10:00~12:00	18名	「視覚障害のある方への支援について」 講師：都筑区視覚障害者福祉協会 ①講義 ②誘導体験 ③質疑応答 階段やトイレ、買い物を想定した誘導体験を行い、支援のポイントをレクチャーしていただきました。
3月10日(火) 13:30~15:00	43名	「知的障害のある方の生活を知ろう！」 講師：都筑区基幹相談支援センター ①講義 ②質疑応答 障害特性について講義いただき、動画を用いてグループホームの様子や当事者のインタビューを紹介いただきました。



▲買い物誘導体験



▲知的障害講座

(ウ) ガイドボランティア茶話会の開催

現在登録中のガイドボランティアを対象に、活動に際しての情報共有、活動のフォローアップの場として、茶話会を開催しました。

実施回数：5回（5/22、9/1、11/21、12/18、3/10）

延べ参加者数：42名

V 区社協の経営・運営推進

1 理事会・評議員会・監事会の開催

地域福祉の推進を目的とする組織として、地域に根ざした活動を展開するため、会員相互の連携による組織運営を行いました。

(1) 理事会（4回）

日 時	参加人数	主な議題等	結果
6月6日（金） 13：30～15：00	理事8名 監事2名	1 令和6年度事業報告及び決算報告（案）について 2 令和7年度年末たすけあい募金の配分について 3 保有する個人情報の保護に関する規程及び保有する保有個人データ開示等の請求に関する規程の改正について 4 任期満了に伴う監事候補者の選出について 5 任期満了に伴う評議員候補者の推薦について 6 評議員選任・解任委員会の招集について 7 定時評議員会の招集について	承認
6月23日（月） 15：10～15：45	理事8名 監事2名	1 会長及び副会長の選定について 2 評議員選任・解任委員会委員の選任について 3 顧問の同意について 4 新規会員の承認について	承認
11月7日（金） 14：00～15：35	理事8名 監事2名	1 善意銀行配分要綱の改正について 2 令和7年度年末たすけあい募金事業助成配分について 3 第30回都筑区社会福祉大会顕彰候補者について 4 「身寄りのない高齢者等支援事業のうちヨコハマあんしん登録事業」業務の受託について 5 令和7年度一般会計収入支出予算の補正について 6 新規会員の承認について 7 評議員会の招集について	承認
3月13日（金） 13：30～15：25	理事10名 監事3名	1 令和7年度収入支出予算の第二次補正について 2 「つづき あい基金」設置運営規程および助成要綱の改正について 3 役員等賠償責任保険契約について 4 令和8年度事業計画及び収入支出予算（案）について 5 理事選任候補者の選出について 6 評議員会の招集について	承認

(2) 評議員会（3回）

日 時	参加人数	主な議題等	結果
6月23日（月） 13：30～15：00 【定時評議員会】	評議員 13名 監事 3名 会長 1名	1 令和6年度事業報告及び決算報告（案）について 2 職員就業規程の改正について 3 経理規程の改正について 4 任期満了に伴う理事・監事の選任について	承認
11月26日（水） 13：30～14：25	評議員 16名 監事 2名	1 経理規程の改正について 2 理事の選任について 3 令和7年度事業報告及び一般会計収入支出の補正について）について	承認
3月25日（水） 13：30～14：30	評議員 17名 監事 2名	1 理事の選任について 2 令和7年度収入支出予算の第二次補正について 3 会員規程の改正について 4 経理規程の改正について 5 令和8年度事業計画及び収入支出予算（案）について	承認

(3) 監事会

日 時	場 所	参加人数	内 容	結果
5月27日（火） 13：30～14：30	かけはし都筑 対面朗読室	監事 3名	・令和6年度の業務執行状況、経理執行状況および財産状況の監査	承認

2 分科会および委員会の開催

本会会員にて組織する分科会および委員会を開催し、会員間の情報交換、関連する課題の協議、事業推進等の協議を行いました。

(1) 分科会

① 民生委員児童委員分科会 …区民児協定例会終了後開催

日にち	参加人数	主な議題	結果
6月16日（月）	21名	・神奈川県共同募金会横浜市都筑区支会委員会（書面審議）について ・賛助会員の募集について ・その他	承認
7月14日（月）	20名	・令和7年度共同募金（街頭募金等）へのご協力をお願い ・令和7年度フードドライブの実施について ・しゅんらんの配布 ・その他	承認

9月16日（火）	20名	・生活福祉資金 民生委員活動費の交付について ・令和7年度 共同募金街頭募金活動について ・令和7年度食のお渡し会について ・善意銀行寄付物品配分のお知らせ希望の登録について ・その他	承認
10月14日（火）	21名	・令和7年度 共同募金・街頭募金運動へのご協力御礼と報告 ・都筑区社協 令和7年度 食のお渡し会について ・その他	承認
11月14日（金）	19名	・都筑区社協 令和7年度 食のお渡し会について（経過報告） ・その他	承認
12月15日（月）	21名	・第30回都筑区社会福祉大会について ・令和6年度第2回食のお渡し会について（報告） ・生活福祉資金 償還残高および償還開始のお知らせ ・その他	承認
2月16日（月）	21名	・都筑区社会福祉協議会の役員、評議員及び各種委員会委員候補者の選出について ・共同募金会都筑区支会委員会の開催について ・その他	承認

② 地区社会福祉協議会分科会 （会長・事務局長合同会議）

日 時	参加人数	主な議題	結果
7月8日（火） 10：00～11：50	25名	・区社協顕彰委員会委員の推薦について ・令和7年度 都筑区社会福祉大会 顕彰について ・令和7年度 地区社協研修検討委員について ・横浜市社協補助金、区社協活動費助成金の結果について ・令和7年度 区社協会費について ・地区社協活動紹介（勝田茅ヶ崎地区・かちだ地区）	承認
11月11日（火） 10：00～11：50	22名	・第30回都筑区社会福祉大会について ・食のお渡し会について ・地区社協研修会について ・地区社協活動紹介（新栄早渕地区・都田地区）	承認
3月3日（火） 10：00～12：00	22名	・令和8年度 地区社協活動費の申請について ・令和7年度 賛助会員募集について ・令和7年度 地区社協状況書について ・令和7年度 地区社協ヒアリングについて ・区社協広報紙しゅんらん掲載内容について ・令和8年度地区社協分科会及び研修会スケジュールについて ・地区社協活動紹介（池辺地区）	承認

③ 自治会町内会分科会

日にち	参加人数	主な議題	結果
5月21日(水)	15名	・令和7年度つづき あい基金助成金の申請について ・令和7年度日本赤十字社募金(会費)への協力について ・都筑区社協賛助会員募集案内の周知について	承認
6月20日(金)		・令和7年度都筑区更生保護協会賛助金の募集および「第31回社会を明るくする運動」について ・日赤都筑区地区委員会及び共同募金会都筑区支会委員会(書面)について	承認
7月18日(金)		・令和7年度共同募金運動用必要資材の調査および共同募金運動について	承認
9月19日(金)		・令和7年度共同募金運動への協力依頼について	承認
11月21日(金)		・第3回更生保護販売会について	承認
2月20日(金)		・令和8年度赤い羽根共同募金協力依頼について	承認
3月19日(木)		・令和8年度日赤会費募集について ・令和8年度日赤会費募集運動用必要資材調査について ・都筑保護司会広報紙「更生保護つづき」の回覧について ・区社協広報紙「しゅんらん」の回覧について	承認

④ ボランティア・市民活動等分科会

日時	参加人数	主な議題	結果
5月14日(水) 10:00~11:30	8名	・令和7年度 事業計画について ・令和7年度 ボランティア・市民活動分科会の取り組みについて(スケジュール、ボランティア交流会) ・市福祉ボランティア・市民活動部会の報告	承認
7月16日(水) 15:00~16:30	7名	・ボランティア交流会(第1回)について ・ボランティア講座について ・市福祉ボランティア・市民活動部会の報告	承認
9月17日(水) 15:50~16:45	8名	・ボランティア交流会(第1回)振り返り ・ボランティア交流会(第2回)企画・検討	承認
1月21日(水) 15:00~16:30	10名	・ボランティア交流会(第2回)振り返り ・市福祉ボランティア・市民活動部会の報告 ・ボランティア・市民活動等分科会長、市社協福祉ボランティア・市民活動部会委員、ボランティアセンター運営委員及び本会役員候補の選定・選出・推薦について ・来年度のスケジュール(案)について	承認

⑤ 障害福祉分科会

日にち	参加人数	主な議題	結果
10月24日（金）	9名	・ 障害者週間キャンペーン パネル展の参加について ・ 研修について ・ 地域福祉保健計画 区計画について	承認
1月16日（金）	24名	「芹が谷やまゆり園研修会」 講師：芹が谷やまゆり園 入所施設の機能、芹が谷やまゆり園の状況について	承認

⑥ 高齢福祉分科会

日にち	参加人数	主な議題	結果
7月9日（水）	5名	・ 区社協からのお知らせ ・ 各施設の意見交換 《テーマ①》地域ニーズの把握の仕方について 《テーマ②》法人・施設の地域貢献活動や地域とのつながりについて	承認
11月12日（水）	5名	・ 区社協からのお知らせ ・ 「法人・施設の地域貢献活動の取組み」アンケートとりまとめ報告 ・ 施設車両等に“見守り活動中”のマグネットシートを貼った見守り活動（仮）について ・ 各施設の意見交換	承認

法人・施設の所有車両を活用したゆるやかな地域の見守り活動について

分科会における意見交換で出た意見より、「見守り活動中」のマグネットシートを法人・施設の所有する車両に貼付し、送迎業務等に合わせてゆるやかな見守り活動を行う取組を実施しました。

参加施設：10施設（本会含む）



⑦ 児童分科会

予定をしていたが、都合により実施せず。

（２）委員会

① ボランティアセンター運営委員会

再掲Ⅱ-1-(1)（9・10ページ）参照

② 都筑区ふれあい助成金配分委員会

日 時	参加 人数	主な議題	結果
5月30日(金) 9:55～10:55	7名	・令和6年度つづきふれあい助成金配分結果報告 ・令和7年度都筑区ふれあい助成金の審査・決定	承認
2月27日(金) 14:00～15:00	10名	・令和7年度都筑区ふれあい助成金 実施状況 ・令和8年度都筑区ふれあい助成金 実施方針	承認

配分先は資料2 (39 ページ) 参照

③ 顕彰委員会

日 時	参加 人数	主な議題	結果
11月7日(金) 13:15～13:45	5名	・顕彰候補者の審議	承認

④ 評議員選任・解任委員会

日 時	参加 人数	主な議題	結果
6月6日(金) 15:05～15:30	3名	・評議員候補者の審議	承認

3 会員の加入促進

会員種別	令和7年度末	令和6年度末	増減
第1種 公私社会福祉事業施設	43 団体	42 団体	1
第2種 民生委員児童委員	170 名	170 名	0
第3種 地区社会福祉協議会	15 団体	15 団体	0
第4種 自治会町内会	15 団体	15 団体	0
第5種 障害者団体等当事者団体	38 団体	40 団体	△ 2
第6種 ボランティア団体・市民活動団体等	13 団体	12 団体	1
第7種 その他社会福祉に関係のある団体	24 団体	25 団体	△ 1
第8種 社会福祉関係行政機関	8 名	8 名	0
第9種 学識経験者	2 名	2 名	0
合計	148 団体・180 名	149 団体・180 名	△ 1

4 賛助会員の募集

社協活動の理解促進および自主財源確保のため、各地区社協と協働し財政面で活動を支える賛助会員の募集を6～12月に行い、実績額の50%は地区社協活動費として、1%を事務費として地区社協に還元しました。

会費年額 1口あたり個人1,000円、法人・団体5,000円

○実績総額 (単位:円)

	令和7年度	令和6年度
会費総額	5,378,653	5,614,623

○各地区別実績内訳

	金額 (単位:円)	地区名	金額 (単位:円)
東山田地区	690,000	佐江戸加賀原地区	293,000
山田地区	149,000	川和地区	686,203
中川地区	216,000	荏田南地区	461,955
勝田茅ヶ崎地区	566,000	渋沢地区	266,400
かちだ地区	367,100	茅ヶ崎南 MGCRS 地区	242,795
新栄早渕地区	173,000	ふれあいの丘地区	324,700
都田地区	509,500	その他(区外等)	65,000
池辺地区	367,000	合 計	5,378,653

5 コンプライアンス推進の取組（重点5）

各種法令等に基づき、適正かつ効率的な事務処理を行うとともに、安定した財源確保に努めました。また、情報公開、個人情報保護、苦情解決等制度の運用を通じて透明性の高い法人運営に努めました。

（1）適正な法人運営

各種規程の整備や情報の公開等、適正な法人運営に努めました。

① 経営組織のガバナンス強化

定款や各種規程に基づき法人の運営を行いました。

② 事業運営の透明性の向上

財務諸表、現況報告書、定款等を窓口やインターネット上で公表しました。

③ 財務規律の強化

役員・評議員・各種委員会委員等の報酬および費用弁償に関する規程をインターネット等で公表しました。

④ ワークライフバランスの推進

働き方改革を踏まえ、日々、業務の見直しを進めながら事業を展開しました。あわせて有給休暇取得義務化を踏まえ、職員の休暇取得を促進しました。

(2) 衛生管理

来館者や職員が安心して室内を利用することができるよう、衛生についての周知や共用する物品について衛生管理に努めました。

(3) 経理処理

会計システムやエレクトリックバンキング（銀行振込システム）を活用し、適正で安全な経理処理に努めました。また、現金管理については、規程に基づく管理を行いました。

(4) 各種マニュアル等の整備と運用

各種規程や規則に基づく法人運営を行うとともに、各種事務マニュアル等を更新して業務を行いました。規則、要綱の改正を随時行い、最新データに更新しました。

(5) 苦情・事故対応

① 苦情解決等の取組

ご意見箱を常設し苦情受付窓口を館内へ掲示するなどの取組を進め、市民や利用者が意見や要望を出しやすい環境づくりに努めました。

② 事件・事故情報、ヒヤリハット等の共有

発生した事件・事故、事務処理ミスについては、全体での定期的な共有や原因分析・対策を行い、再発防止に努めました。

	件数
ご意見箱	0 件
苦情受付	0 件
事件・事故	10 件*

* 誤送付・送信、送付・連絡漏れ、共同募金二重請求、権利擁護事業振込間違い 等

③ 窓口満足度調査

拠点利用者に向けて11月10日～12月10日まで、窓口満足度調査を実施しました。92件のご意見をいただき、4点満点の3.9点の評価をいただきました。

6 地域福祉推進のための職員の育成

地域福祉の推進を担う社協職員の資質の向上を目指し、市社協人材育成計画および人事考課制度に基づき、計画的な職員育成を行いました。また、職場内においては、全職員が地域支援を進めるための強化を図るために必要な知識、技術の研鑽に努めました。

(1) 事業促進・相互学習のためのミーティングの開催

業務別打ち合わせ、内部研修会等を通じ、各職員の担当業務についてスキルアップを図るとともに、職員会議（毎月1回）や地域支援検討、ケースカンファレンスなどの機会を用いて、個別業務と地域支援を関連させ展開できるよう取り組みました。

また、職員全体研修として、コンプライアンス研修や都筑消防署に依頼し、避難訓練の研修を実施しました。また、市社協を通じて身近事業出前講座を実施し、職員全体で意見交換を行いました。

(2) 関係機関との研修の開催

①地域活動・交流コーディネーター連絡会

区役所や関係機関と地域支援を進めるためスキル向上を目的とした研修を実施しました。

(ア) 連絡会の開催

(イ) 研修コーディネーター研修

開催日	テーマ	講師	参加者数
7月2日(水) 15:30～17:00	スクールソーシャルワーカーとの懇談会 (北部教育事務所)	北部教育事務所 スクールソーシャルワーカー	8名
10月8日(水) 15:30～17:00	研修・見学会 (つづきの家)	つづきの家 施設長、計画相談員	7名
12月3日(水) 15:30～17:00	研修・見学会 (アーモンドコミュニティネットワーク)	アーモンドコミュニティネットワーク 理事長	8名

②2層コーディネーター連絡会(再掲)

(3) 外部研修への参加

市社協や関係機関等が主催する研修会に参加し、職員の資質向上に努めました。また、研修終了後、職員内で伝達研修を実施しました。

VI その他の事業

1 共同募金・年末たすけあい募金への協力

社会福祉団体の活動、住民参加型の地域たすけあい活動への援助等を目的に、自治会町内会や民生委員児童委員等にご協力いただき、戸別募金や街頭募金などの募金活動を行いました。

(※県共同募金会横浜市都筑区支会に協力)

2 生活福祉資金の貸付・援護事業

県社協受託費・共同募金配分金 4,760千円 [4,499千円]

低所得世帯や障害者世帯などの要援護世帯、および離職者に対し、経済的自立と生活意欲の向上を図るため資金貸付を行なうとともに、必要な相談支援を行いました。

なお「生活福祉資金特例貸付」の終了に伴い、以降は償還や猶予の問合せなどに引き続き対応をしました。

(1) 生活福祉資金の貸付

生活の安定と経済的自立を図ることを目的に、一時的な資金の貸付と必要な相談支援を行いました。

① 貸付相談件数 2,194件（令和6年度：2,239件）（単位：数）

資 金 名	件数	資 金 名	件数
生活福祉資金（福祉、教育）	1,538	緊急小口資金（特例）	364
緊急小口資金	155	総合支援資金（特例）	
総合支援資金	43	※緊急小口資金（特例）、総合支援資金（特例）	
臨時特例つなぎ資金	1	令和4年9月末で受付終了となりました。	
不動産担保型生活資金（要保護含む）	93		
生活福祉資金以外の制度	0		

② 貸付決定件数：25件、貸付額：13,188,000円（特例貸付を除く）
（令和6年度：36件、貸付額：16,217,000円（特例貸付を除く））

資 金 名	決定件数	貸付決定額（円）
生活福祉資金（福祉費）	2	289,000
生活福祉資金（教育支援費）	15 ※辞退者含む	7,878,000
生活福祉資金（就学支度費）	6 ※辞退者含む	1,931,000
緊急小口資金	1	100,000
不動産担保型生活資金（要保護世帯向け含む）	1	2,990,000
総合支援資金（生活支援費）	0	0
総合支援資金（住宅入居費）	0	0
総合支援資金（一時生活再建費）	0	0
臨時特例つなぎ資金	0	0
合 計	25	13,188,000

（2）災害見舞金の給付

火災により、住家に被害を受けた罹災世帯に見舞金を給付しました。

件数 7件 見舞金 65,000円

（3）低所得者法外援護費事業

区役所と連携して行旅病人等に対し緊急時等における交通費を支給しました。

630円（1件返還あり）

（4）年末たすけあい配分金（再掲）

3 各種福祉関係団体事務局の運営

団 体 名	趣 旨	主な活動内容
日本赤十字社 神奈川県支部横浜市 地区本部都筑区地区 委員会	博愛と人道の精神を 基本に、募金活動 (会費募集)や諸事業 を実施	(1) 赤十字募金 総額：5,899,789 円 募集期間 6～7 月 (2) 諸事業 ・小災害見舞金品の交付 (件数 10 件) ・区民まつり等における P R 活動
神奈川県共同募金会 横浜市都筑区支会	共同募金運動を通じ て、幸せを分かち合 う心を基盤に福祉の 向上を推進	(1) 赤い羽根共同募金 総額：7,124,675 円 募集期間 10 月～12 月 戸別募金／自治会町内会を通じ依頼 街頭募金／53 団体 (地区民児協、障害者 施設、ボランティアグループ 等) 法人募金／16 法人 職域募金／11 法人・企業 学校募金／区内小中学校 5 校 イベント募金／横浜ビー・コルセアー ズ、区民まつり 募金箱設置／51 団体
		(2) 年末たすけあい募金 総額：6,404,323 円 募集期間 12 月 戸別募金／自治会町内会を通じ依頼 法人募金／1 法人
		募金額合計 (1) + (2) : 13,528,998 円
都筑区更生保護協会	犯罪の予防・更生保 護事業の充実発展の ため、賛助金の募集 更生保護思想の普 及・社明運動の広報 啓発	(1) 更生保護団体の諸活動への支援 (2) 賛助金 募金額：869,820 円 募集期間 7 月～8 月 (自治会町内会へ依頼) (3) 啓発講演会、各地域でのミニ集会、街 頭宣伝活動等の実施 (都筑区社会を明 るくする運動実行委員会)
都筑保護司会	犯罪の防止と、罪を 犯してしまった人の 更生の手助けをする などの活動	(1) 研修会開催、保護司間の情報交換 (2) 薬物乱用防止啓発活動への参加協力 (3) 対象者支援活動 (4) 現員数／26 名
都筑区 更生保護女性会	同上の趣旨で、女性 としての立場で活動	(1) 宣伝・啓発・推進活動 (2) 施設入所者への寄付 (3) 会員数／166 名
都筑区戦没者遺族会	会員相互の福祉の増 進、公德心の高揚、 世界平和への貢献	(1) 理事会の開催／全 6 回 (2) 戦没者追悼式の開催 (3) 全国・市の慰霊事業等への参加 (4) 会員数／118 名

参 考 資 料

- 資料 1 都筑区善意銀行寄託金品配分状況
- 資料 2 都筑区ふれあい助成金配分団体
- 資料 3 年末たすけあい募金事業助成配分団体
- 資料 4 地区社協運営費及び地区社協活動費助成一覧
- 資料 5 つづき あい基金配分団体

令和7年度 都筑区善意銀行寄託金品 配分状況

資料1

(1)金銭

ア 寄付金内訳(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(敬称略)

No.	月日	預託者・団体名	金額(円)
1	4月30日	杉田 文江	10,000
2	5月7日	匿名	6
3	5月8日	都筑保護司会、都筑区更生保護女性会	72,900
4	6月25日	ミライフ株式会社 横浜店	12,694
5	8月15日	イトーヨーカドー労働組合ららぽーと横浜支部	14,350
6	9月2日	荏田南五丁目自治会敬老会	17,600
7	9月22日	匿名	20,203
8	9月25日	ミライフ株式会社 横浜店	9,226
9	10月1日	村田 輝雄	300,000
10	10月3日	ボーイスカウト横浜第132団育成会	5,000
11	10月9日	株式会社アシスト	10,000
12	11月20日	株式会社サーキュラス	10,000
13	11月21日	匿名	20,000
14	12月22日	京セラ労働組合横浜支部	20,000
15	12月22日	京セラ株式会社 横浜事業所	50,000
16	12月22日	京セラ株式会社横浜事業所社員一同	350,000
17	12月22日	ヤマザキ製パン従業員組合神奈川支部	730,000
18	12月23日	匿名	332,330
19	12月23日	匿名	10,000
20	12月25日	ミライフ株式会社 横浜店	12,782
21	1月22日	イトーヨーカドー労働組合ららぽーと横浜支部	18,550
22	3月25日	ミライフ株式会社 横浜店	10,564
23	3月31日	横浜市大熊保育園職員	5,000
合計			2,041,205

イ 配分

配分金

No.	団体名	金額	申請内容
1	地域交流スペース「ふれあいの木」運営協議会	44,000	【事業立上】
2	あおぞら会	87,000	【行事・催事】
3	都筑区子ども会育成連絡協議会	110,000	【備品購入】
4	特定非営利活動法人 アーモンドコミュニティネットワーク	156,000	
5	くるみクラブ	39,000	
6	ピオ茅ヶ崎	131,000	
7	テラ都筑	96,000	
8	特定非営利活動法人みんなの家	126,000	
9	特定非営利活動法人カプカブ川和	174,000	
10	ごぼうハウス都筑	19,000	
11	都筑区障害児・者親の会	26,000	【団体活動】
12	NPO法人栄光会(地域作業所あんさんぶる)	26,000	
13	くじらスイミングクラブ	26,000	
14	とまとのおうち親の会	26,000	
15	特定非営利活動法人都筑むつみ会	26,000	
16	都筑区視覚障害者福祉協会	26,000	
17	都筑区手をつなぐ育成会	26,000	
18	つづき言語会	26,000	
19	ゆうあい昼食会	26,000	
20	学ぼう会	26,000	
21	シンフォニックサロンの会	26,000	
22	ボランティアはまゆう	26,000	
23	荏田南地区ほほえみ交流カフェ運営グループ	26,000	
24	認知症カフェ「コソコソ」	26,000	
25	都筑区災害ボランティアネットワーク	26,000	
26	都筑区老人クラブ連合会	26,000	
27	都筑区認知症サポート連絡会	44,000	【区域連絡会】
28	都筑区障害者事業所ネットワークつなぎつづき	44,000	
29	都筑区認知症カフェ連絡会	44,000	
30	都筑区障害児・者福祉団体連絡協議会	44,000	
31	都筑区民生委員児童委員協議会	100,000	【その他】
32	都筑区福祉農園実行委員会	100,000	
33	食支援事業(都筑区社会福祉協議会)	100,000	
34	つづき あい基金事業(都筑区社会福祉協議会)	75,000	
当初配分額合計		1,949,000	
返還(3団体)		30,409	未執行のため
年度配分額総合計		1,918,591	

(2) 物品(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

No.	月日	寄付者・団体	寄付物品	配分先
1	4月7日	匿名	米5kg×15袋	子ども食堂×5か所
2	4月8日	株式会社 朝日	パスタ、オリーブオイル	食支援(個別)、子ども食堂、佐江戸加賀原地区他
3	4月13日	株式会社 朝日	パスタ	子ども食堂、食支援(個別)他
4	4月30日	株式会社マルハン 都筑店	お菓子	憩いの場、都田地区社協、川和地区社協
5	5月13日	株式会社 朝日	トマト缶	都田地区社協
6	5月19日	株式会社 朝日	トマト缶	子ども食堂、食支援(個別)他
7	5月28日	株式会社マルハン 都筑店	お菓子	Dフrendリー実行委員会、池辺地区社協、食支援(個別)
8	6月2日	株式会社悠輝 ドキわくランド北山田店	お菓子	憩いの場、佐江戸加賀原地区食支援、子ども食堂等
9	6月5日	イケア・ジャパン株式会社 IKEA横浜	食事チケット	区内子ども食堂
10	6月12日	匿名	飲料(メイバランス12本×5箱)	区民児協(荏田南/勝田茅ヶ崎/かちだ/川和/都筑荏田)
11	6月30日	株式会社マルハン 都筑店	お菓子	地区社協、子ども食堂等
12	6月30日	株式会社 朝日	シラップ漬け×36個×3箱	子ども食堂
13	7月3日	匿名	そうめんと缶詰	食支援(個別)
14	7月3日	株式会社 朝日	トマト缶24缶	子ども食堂
15	7月17日	匿名	ジュース	子ども食堂
16	7月22日	株式会社悠輝 ドキわくランド北山田店	お菓子	食支援(個別)
17	7月28日	株式会社マルハン 都筑店	お菓子	憩いの場、食支援(個別)
18	7月31日	匿名	お米(5キロ×30袋)	子ども食堂
19	8月6日	匿名	石鰯13個	食のお渡し会
20	8月12日	匿名	お米(3キロ×3袋)	子ども食堂
21	8月12日	株式会社悠輝 ドキわくランド北山田店	お菓子	地区社協分科会
22	8月20日	木村 博子	男性用肌着、介護職	地区民協
23	8月21日	匿名	日用品一式	食のお渡し会
24	8月26日	株式会社マルハン 都筑店	お菓子	地区社協・ほほえみ交流会
25	9月1日	匿名	お米5キロ×1袋	子ども食堂
26	9月16日	匿名	食品各種	食のお渡し会
27	9月16日	株式会社悠輝 ドキわくランド北山田店	お菓子	Dフrendリー実行委員会、他
28	9月25日	匿名	お米5キロ×2袋	子ども食堂
29	9月30日	匿名	紙おむつLサイズ×3袋	食のお渡し会
30	9月30日	株式会社マルハン 都筑店	お菓子	食支援(個別)、地区社協分科会
31	9月18日	ちょこっと子育てレスキュー隊	粉ミルク×1缶	食のお渡し会
32	9月19日	匿名	カラー用紙・封筒	地区社協分科会
33	10月1日	匿名	そうめん/ゼリーなど	食のお渡し会
34	10月14日	株式会社悠輝 ドキわくランド北山田店	お菓子	佐江戸会館ふれあいサロン、地区社協分科会
35	10月26日	ユーコープ横浜北2エリア会	文具 (えんぴつ・ノート)	食のお渡し会・希望する小中学校
36	11月10日	(株)阪急阪神百貨店 都筑阪急	食品各種(お菓子他)	憩いの場、食のお渡し会
37	11月17日	公益社団法人緑法人会 女性部	お米2キロ×22袋	食支援(個別)

(2) 物品(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

No.	月日	寄付者・団体	寄付物品	配分先
38	11月17日	株式会社悠輝 ドキわくランド北山田店	お菓子	食のお渡し会、佐江戸加賀原地区社協、食のお渡し会
39	11月18日	イケア・ジャパン株式会社 IKEA横浜	お菓子 (金額換算258,550円)	子ども食堂
40	11月20日	株式会社マルハン 都筑店	お菓子	食のお渡し会、池辺地区社協おすそ分け会、子ども食堂
41	12月4日	匿名	食品	食支援(個別)
42	12月4日	匿名	お米5キロ×15袋	子ども食堂
43	12月5日	匿名	お米5キロ×15袋	子ども食堂
44	12月17日	匿名	タオル45枚	区社協会員予定
45	12月18日	匿名	缶詰め2缶	食支援(個別)
46	12月22日	匿名	紙おむつ×8袋	区社協会員予定
47	12月22日	株式会社悠輝 ドキわくランド北山田店	お菓子	佐江戸加賀原地区社協、食支援(個別)
48	12月11日	イケア・ジャパン株式会社 IKEA横浜	ぬいぐるみ	区内子ども食堂
49	12月24日	株式会社マルハン 都筑店	お菓子	食支援(個別)、都田地区社協、池辺地区社協
50	12月25日	イケア・ジャパン株式会社 IKEA横浜	お菓子 (チョコレートとグミ)	子ども食堂
51	12月26日	牛久保町内会	備蓄品 (水、ミルクビスケット缶)	区社協会員、子ども食堂 食支援(個別)
52	1月13日	匿名	日用品(タオル・タオルケット・洗剤他)	区社協会員予定
53	1月19日	株式会社悠輝 ドキわくランド北山田店	お菓子	区社協会員
54	1月28日	株式会社マルハン 都筑店	お菓子	区社協会員
55	2月5日	匿名	紙おむつ3袋	子育て支援関係機関
56	2月6日	地域活動ホームくさぶえ	缶詰め2種類×24缶×10箱 紙コップ保存パン30食×2箱	食支援(個別)、地区社協分科会
57	2月9日	株式会社悠輝 ドキわくランド北山田店	お菓子・缶詰め・日用品	地区社協分科会・会員配分
58	2月12日	匿名	食品(干し芋)	かちだ地区社協
59	2月13日	早川 弘子	通園通学バック	個別支援
60	2月20日	無量寺	缶詰め・お茶・お菓子	食支援(個別)
61	2月25日	株式会社マルハン 都筑店	お菓子	食支援(個別)
62	3月11日	匿名	食品	食支援(個別)
63	3月12日	勝田茅ヶ崎地区社会福祉協議会	食品(パックごはん等)	食支援(個別)
64	3月23日	株式会社悠輝 ドキわくランド北山田店	お菓子・缶詰め・日用品	地区社協分科会
65	3月24日	株式会社マルハン 都筑店	お菓子	地区社協分科会
66	3月27日	匿名	米5kg×15袋	子ども食堂
67	3月27日	都筑区仏教会	お供物	食支援(個別)

令和7年度 都筑区ふれあい助成金 配分団体 資料2

NO	助成区分	団体名	事業名	助成額
1	A①	チョコ村〇△□ ～みんなで作るみんなの居場所～	地域交流の場の提供	300,000
2	A①	憩いの場	憩いの場	195,000
3	A①	学ぼう会	若者支援（学習支援）	250,000
4	A①	港北ガーデンヒルズ シルバーサロン	サロン・茶話会	120,000
5	A①	NPO法人 みんなの家	みんなの家「余暇支援サロン」活動	120,000
6	A①	傾聴ボランティアグループYou&Me	傾聴サロン・茶話会	120,000
7	A①	陽だまり会	健康体操	120,000
8	A①	ボランティアふきのとう	昼食会	120,000
9	A①	荏田南どんぐりカフェ	認知症備えカフェ	70,000
10	A①	さわやかカフェハーモニー	認知症カフェ	80,000
11	A①	2丁目スマイルカフェ	誰でも立ち寄れる場所の提供（体操、講話、歌、コンサートなど）	80,000
12	A①	子育てカフェ りんご	子育て支援	80,000
13	A①	ふれあい昼食会	一人暮らしの方対象の昼食会	80,000
14	A①	ファミリーカフェ	認知症予防カフェ	80,000
15	A①	シンフォニックサロンの会	年12回のサロンを開催 介護予防を目的とする	80,000
16	A①	リスの会	リハビリ教室	80,000
17	A①	荏田南地区ほほえみ交流カフェ運営グループ	認知症&予防カフェ	80,000
18	A①	さんサンさんぽ	集いの広場	80,000
19	A①	元気アップ応援クラブ	歌って体幹エクササイズ認知症予防	80,000
20	A①	港北ファミールハイツ シニア福祉委員会	ファミールカフェ	80,000
21	A①	おしゃべりサロン	高齢者サロン	80,000
22	A①	ふれあいの丘地区 民生児童委員あいテラス	お楽しみ会・昼食会	80,000
23	A①	ふれんど♡らぶ	子ども食堂	50,000
24	A①	認知症カフェ「コツコツ」	認知症カフェ	80,000
25	A①	三丁目カフェ	三丁目カフェ	20,000
26	A①	今日も元気だ！ふれあい会	なかなかサロンinフォレストパーク	98,000
27	A①	渋沢ふれあい会	誰でも参加できる地域の交流場所	80,000
28	A①	それいゆ	障害児・者を含む理容、交流サロンサポート事業	80,000
29	A①	はじめの一步	集いの場	80,000
30	A①	ふれあいカフェ	認知症予防カフェ	50,000
31	A①	たまの土曜	子育て支援、居場所づくり	40,000
32	A①	キッズ・パレット	親子リズム体操	80,000
33	A①	YOP	フリースペース（子どもの居場所、学習支援）（親子、小学生）	80,000
34	A①	佐江戸会館ふれあいサロン	多世代ふれあいサロン	80,000
35	A②	おたがいさま会	ごみ出し・お買い物	140,000

NO	助成 区分	団体名	事業名	助成額
36	A②	ふれあいの丘ほっとボランティアの会	生活支援ボランティア	80,000
37	A②	佐江戸加賀原ちょこっとボランティア	ちょこっとボランティア	80,000
38	A③	NPO法人 ロクマル	お手紙弁当	300,000
39	A③	ゆうあい昼食会	昼食作り	80,000
40	A③	ボランティア はまゆう	配食サービス	80,000
41	B①	くるみクラブ	余暇活動（障がい者スポーツ）	300,000
42	B①	AST（アシスト）	障がい者スポーツ（バスケットボール）	300,000
43	B①	くじらスイミングクラブ	障害児・者の水泳訓練と余暇活動	80,000
44	B①	つづき言語会	リハビリ目的等の集い	120,000
45	B①	NPO法人スペースシップ2009	身体と心を動かす余暇活動	120,000
46	B①	SPEC	スポーツ活動 バスケットボール	300,000
47	B①	ペンギンクラブ	テニス・ボーリング、美術展参加	50,000
48	B①	きりんの親子	音楽療法	80,000
49	B①	みんと	フリースペース	70,000
50	B①	たんぼぼ	肢体不自由者の機能回復と研修	80,000
51	B①	なないろパーカッションアンサンブル	障害児者のパーカッションアンサンブル	80,000
52	B①	WAKU2ミュージカルカンパニー	歌・ダンス・演技などワークショップ	80,000
53	B①	HPKA（ハピカ） 北部ピアの会	定例会・イベント	80,000
54	B①	はじめのいっぽ	音楽療法	80,000
55	B②	みどりエアーシップ	ますつかみ&BBQ	30,000
56	B②	エルフィン神奈川	宿泊、日帰りハイク	50,000
57	B③	つづき音声訳グループあかり	音声訳	50,000
58	B③	手話ひよこクラブ	手話の勉強会	50,000
59	B③	手話クラブ かるがも	手話サークル	50,000
60	C	中川西小おやじの会	地域住民交流	40,000
61	C	センター北キッズファーム管理運営委員会	センター北キッズファーム「畑の日」	40,000
62	C	グループすこやか	障害児を含む支援	40,000
63	C	えだみなみの歌声	地域住民交流	40,000
64	C	和ぎ	就労している障害者のサロン	30,000
65	C	川和日本語教室	日本語学習支援	40,000
66	C	山田地区Dフレンドリー委員会	認知症の方がやさしく暮らせる街づくり	40,000
67	C	NPO法人 カブカブ川和	地域交流	30,000
68	C	クリ活! Creative Activities for Diversity	パラスポーツ体験	30,000
69	C	おはなしネットワークかたらんらん	紙芝居講座	30,000
70	C	つづきっこまつり運営委員会	第30回つづきっこまつり	30,000
71	C	TAMおやこのひろば	地域の子ども、親子向けの体験ワークショップなどの開催および親向けの学習会	30,000
72	C	都筑区災害ボランティアネットワーク	区民まつりでのPR	30,000

NO	助成 区分	団体名	事業名	助成額
73	C	つづきジャズ協会	ベストポケットジャズ&あらかると	30,000
74	C	特定非営利活動法人 アスタ荏田	子どもパン教室	30,000
75	C	都筑区子ども会育成連絡協議会	親子KYT防災セミナー	30,000
76	C	ママノテ	主に未就学、低学年の障害児の母親たちの茶話会、ワークショップなど	30,000
77	C	とまとのおうち 親の会	勉強会	30,000
78	C	あおぞら会	勉強会	30,000
79	C	横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブ	You&I コンサート	30,000
80	C	平台親子サロン	親子サロン	15,000
81	C	NPO法人H&Kハッピーラボ	バスの交通安全教室	30,000
82	C	Withネットワーク	バリアフリーWITHコンサート	30,000
83	C	川和 大人のベース基地	多世代交流	40,000
84	C	オレンジ オーレ	認知症理解のための啓発活動	30,000
85	C	飛び出せ園バス隊	人形劇、お話会の出張公演	30,000
86	C	特定非営利活動法人アーモンドコミュニティネットワーク	不登校ひきこもり支援のための「傾聴と対話ダイアログ勉強会」と「アート支援勉強会」を開催する	40,000
87	C	川和地域送迎サービス協議会	おたのしみ会	30,000
88	C	すみっこ部	中高年の啓発勉強会、公開講座、地域交流	30,000
89	C	都田スマイル c a f e	地域住民交流 コミュニティカフェの企画・開催	30,000
90	C	すずらん会	家族会の学習会	30,000
91	C	LOVEフォトプロジェクト	交流広場	40,000
92	D	南山田町内会吹矢クラブ	高齢者の健康増進事業	10,000
93	D	バランス講座	高齢者の健康増進事業	10,000
94	D	ふれあいウォーク (ふれあいの丘地区防犯・地域元気づくり協議会)	高齢者の健康増進事業	10,000
95	D	高齢者健康体操教室	高齢者の健康増進事業	10,000
96	新規 立上	ひらだいホッと60	生活支援ボランティア	30,000
総合計				7,188,000

区分		助成金額
A①	要援護者支援区分/集いの場活動	3,273,000
A②	要援護者支援区分/家事・生活支援活動	300,000
A③	要援護者支援区分/配食活動	460,000
B①	障害児者支援区分/障害児者支援・障害当事者活動	1,820,000
B②	障害児者支援区分/宿泊・日帰りバスハイク	80,000
B③	障害児者支援区分/視覚障害者・聴覚障害者支援	150,000
C	福祉のまちづくり区分	1,035,000
D	健康増進区分	40,000
新規 立上	新規立上区分	30,000
総合計		7,188,000

令和7年度 年末たすけあい募金事業助成 配分団体

資料3

(1) 見守り活動助成(地区社協配分)

No	種別	団体名	事業内容	助成額
1	地区社会福祉協議会	東山田地区社会福祉協議会	見守り訪問活動、見守り連絡会	160,000
2	地区社会福祉協議会	山田地区社会福祉協議会	見守り訪問活動	120,000
3	地区社会福祉協議会	中川地区社会福祉協議会	見守り訪問活動	150,000
4	地区社会福祉協議会	勝田茅ヶ崎地区社会福祉協議会	見守り訪問活動	100,000
5	地区社会福祉協議会	かちだ地区社会福祉協議会	見守り訪問活動、見守り連絡会	160,000
6	地区社会福祉協議会	新栄早瀬地区社会福祉協議会	見守り訪問活動、見守り連絡会	80,000
7	地区社会福祉協議会	都田地区社会福祉協議会	見守り訪問活動	50,000
8	地区社会福祉協議会	池辺地区社会福祉協議会	見守り訪問活動、見守り連絡会	125,000
9	地区社会福祉協議会	佐江戸加賀原地区社会福祉協議会	見守り訪問活動、見守り連絡会	160,000
10	地区社会福祉協議会	川和地区社会福祉協議会	見守り訪問活動、見守り連絡会	160,000
11	地区社会福祉協議会	荏田南地区社会福祉協議会	見守り訪問活動	120,000
12	地区社会福祉協議会	渋沢地区社会福祉協議会	見守り訪問活動	50,000
13	地区社会福祉協議会	茅ヶ崎南MGCRS地区社会福祉協議会	見守り訪問活動	150,000
14	地区社会福祉協議会	ふれあいの丘地区社会福祉協議会	見守り訪問活動、見守り連絡会	160,000
			当初助成額合計	1,745,000
			返還(1地区1事業)	120,000
			年度助成額総合計	1,625,000

(2) 事業助成（団体配分）

No	種別	団体名	事業名	助成額
1	ボランティア	配食グループ たけのこ会	配食グループ たけのこ会	40,000
2	ボランティア	ボランティア ふきのとう	クリスマス会・新年会	50,000
3	ボランティア	NPO法人 アーモンドコミュニティネット トワーク	「こども・若者の声を聴く」 ～北欧フィンランドの実践から学ぶ～	50,000
4	障害	バナナのおうち	クリスマス会	41,000
5	障害	それいゆ	新年会	20,000
6	障害	あおぞら会	親睦のためのレクリエーション	50,000
7	障害	くるみクラブ	お楽しみ会	50,000
8	福祉活動団体 (地域団体)	あじさい会	あじさい会 新年会及び年賀の配布	30,000
9	福祉活動団体 (地域団体)	きたやまた落語倶楽部	北山田寄席	50,000
10	福祉活動団体 (地域団体)	北山田健康体操	忘年会	24,000
11	福祉活動団体 (地域団体)	憩いの場	大人のクリスマス会	50,000
12	福祉活動団体 (地域団体)	都筑区子ども会育成連絡協議会	子ども展	50,000
13	福祉活動団体 (地域団体)	都筑が丘第2自治会 イベントサークル	都筑が丘第2自治会2026年餅つき大会	50,000
14	福祉活動団体 (地域団体)	地域交流スペース「ふれあいの木」 運営協議会	「ふれあいの木」のクリスマス会	50,000
15	福祉活動団体 (地域活動支援センター)	特定非営利活動法人 都筑むつみ会	お楽しみ会	20,000
16	福祉活動団体 (障害作業所)	都筑ハーベスト	味噌づくり交流会	50,000
17	福祉活動団体 (障害作業所)	NPO法人 アスタ荏田	ワークショップ	50,000
当初配分額合計				725,000
一部返還（1団体）				13,160
年度配分額総合計				711,840

令和 7 年度 地区社協活動費助成一覧

資料4

(単位:円)

No	団体名	地区社協活動費 (市社協財源)	地区社協活動費 (世帯割)	地区社協活動費 (事業費割)
1	東山田地区社会福祉協議会	50,000	110,000	75,000
2	山田地区社会福祉協議会	50,000	170,000	70,000
3	中川地区社会福祉協議会	50,000	170,000	60,000
4	勝田茅ヶ崎地区社会福祉協議会	50,000	170,000	55,000
5	かちだ地区社会福祉協議会	50,000	130,000	95,000
6	新栄早渕地区社会福祉協議会	50,000	90,000	90,000
7	都田地区社会福祉協議会	50,000	170,000	60,000
8	池辺地区社会福祉協議会	50,000	130,000	80,000
9	佐江戸加賀原地区社会福祉協議会	50,000	110,000	90,000
10	川和地区社会福祉協議会	50,000	130,000	100,000
11	荏田南地区社会福祉協議会	50,000	110,000	70,000
12	渋沢地区社会福祉協議会	50,000	90,000	50,000
13	茅ヶ崎南MGCRS地区 社会福祉協議会	50,000	70,000	80,000
14	ふれあいの丘地区社会福祉協議会	50,000	110,000	100,000
	当初助成額	700,000	1,760,000	1,075,000
	返還 (1地区1事業)	0	0	10,000
	年度助成額総合計	700,000	1,760,000	1,065,000

令和7年度「つづき あい基金」助成金 配分団体

資料 5

1. 地域福祉保健活動を推進するための活動方法や調査研究、研修、検討にかかる費用 →【前期、後期ともに申請なし】

2. 区計画及び地区別計画の推進に関する広報紙やチラシの発行 →【前期2件、後期1件】

No.	新規／継続	団体名 代表者名	発行部数 回数	助成 金額	事業の目的	前期 後期
1	継続	茅ヶ崎南MGCRS 連合自治会	5,500部 年5回予定	20,000円	地域における福祉保健活動の広報・周知不足を解消するために広報を発行する。（令和3～6年度も発行）	前期
2	新規	渋沢地区 社会福祉協議会	4,000部 年2回予定	11,846円	幅広い世代に情報伝達を行うため、渋沢地区連合自治会ホームページをリニューアルし、LINEやInstagram等のSNSを導入する。チラシやポスターなどに2次元コードをつけて配布し、周知を図る。	前期
3	継続	山田連合町内会	3,000部 年2回予定	10,000円	広報誌を各戸配布することで、町内会に興味を持っていただき、役員を紹介したり活動をお知らせすることで参加しやすく安心して支えあえる町づくりしていることを周知出来る。	後期

3. デジタル媒体を活用し、地域福祉保健活動を推進するための備品整備にかかる費用やホームページ、SNS等による周知・啓発に係る費用 →【前期0件、後期1件】

No.	新規／継続	団体名 代表者名	購入予定品名 購入品の使途	助成 金額	事業の目的	前期 後期
1	新規	勝田茅ヶ崎地区 連合町内会	ホームページ作成	100,000円	ホームページを導入することで、主に次のような効果が得られる。 1. 情報共有の効果：最新情報をすぐに全世帯へ周知できる。 2. 参加促進・地域交流の活性化：写真で活動報告を掲載することで、参加者の満足度向上や新規参加のきっかけになる。コメント機能や問い合わせフォームを通じて、住民同士のつながりを強化できる。若い世代にもアクセスしやすく、世代間交流の促進が期待できる。 3. 防災・防犯情報の迅速な共有：安否確認・避難情報を速やかに掲載。 4. 町内会の運営や透明性を確保 結果として、であいが広まり、つながりのある地域づくりの手段として期待できる。また、信頼性のある情報を速やかに必要な人に伝達でき、ささえあいの手段としても期待できる。	後期

4. サロンなどの地域福祉保健活動の活動費（新規事業に限る） →【前期、後期ともに申請なし】